第2740地区　創立／1990年9月29日　認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岡　光正 / 副会長：芥川　圭一郎 / 幹事：馬渡　圭一

よいことのために手を取りあおう



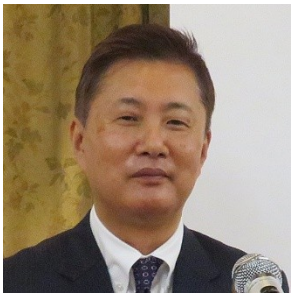
2025～2026 年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 橋口　佳周　副委員長 / 倉科　聡一郎
委員 / 西村　浩輝、四元　清安、崎山　信幸、田中　啓輔、澤田　磨

本日の出席率３１％：会員数５５名・出席２９名・欠席１１名・出席規定免除会員１２名・ビジター０名
前々回の修正出席率９０．９０％：出席２９名・メークアップ４名

会長挨拶 / 岡 光正君



皆様、今晩は。白濱仁啓会長を始めとする、佐世保東ロータリークラブの皆様・西沢寛会長を始めとする、佐世保北ロータリークラブの皆様。そして佐世保中央ロータリークラブの皆様、本日は大変お忙し中、ご出席頂き誠に有難うございます。本日の合同例会を担当致します、佐世保中央ロータリークラブ会長の岡光正と申します。どうぞ、最後まで宜しくお願い致します。

先月２８日に開催されました、第８回３クラブ親睦ゴルフ大会では、北クラブが見事優勝し、東クラブが準優勝、中央クラブは予想外に最下位に沈みました。来年は当クラブが担当となりますので、しっかりと準備をして、「数が多いだけ」と言われない様にリベンジしたいと思います。個人優勝の北クラブ藤井パスト会長、誠におめでとうございます！

今回の３クラブ合同例会に、初めて参加される方もおりますので、この合同例会の歴史について少しお話させて頂きます。第１回目が、９年前　２０１７年３月に北クラブさんのホストで、当時、東クラブが村瀬会長、北クラブが藤井会長、中央クラブが山瀧会長で開催致しました。この時、第６グループ牛島義亮ガバナー補佐に、「６クラブの現況報告」について卓話を頂きました。

第２回目が翌年２０１８年３月に、東クラブさんのホストで開催し、当時、第６グループ前田和隆ガバナー補佐に卓話を頂きました。この年から３クラブ親睦ゴルフ大会が始まった様です。その後は、「コロナ過」もあり、しばらくは開催する事ができませんでした。今回、中央クラブからお声掛けをさせて頂き、８年振りの３回目の開催となりました。北クラブさんには月曜日から、例会変更までして頂き有難うございました。

この後の卓話では、当クラブの前田眞澄ガバナー補佐よりお話させて頂きますので、宜しくお願い致します。

本日は、３クラブ合わせ９３名のロータリアンにご出席頂きました。そこで、ロータリアンのあかしである「ロータリーバッジ」について話をしたいと思います。

先週６日・７日に、中央クラブ有志１３名で、第２回メークアップ推進事業として、大阪ロータリークラブに続き、愛媛、松山ロータリークラブに、メークアップに行ってきました。松山ロータリークラブは創立８８周年、会員数７０名の歴史と伝統あるクラブでした。佐世保ロータリークラブが本年７５周年を迎えていますので、それより古いクラブです。　　その訪問のきっかけになったのが、我々が付けている「ロータリーバッジ」のお陰でした。

松山ロータリークラブの本年度会長と、当クラブの牛島パスト会長が、映画界の同業者であり、以前から交流がありましたが、お互いロータリアンである事は知らなかった様です。１年前のある会合で、またお二人が一緒になり、牛島パスト会長の「ロータリーバッジ」に、松山ロータリークラブの会長が目に留まり、お互いがロータリアンである事を、始めて知りました。そこでロータリー談義に花が咲いた様です。その話の中で私を紹介して頂き準備を進め、有志を募り今回の訪問に至りました。まさに「ロータリーバッジ」が繋げた縁であり、「バッジ」の重要性を改めて痛感致しました。

本日、ここにお集まり頂いた皆様は、既に「ロータリーバッジ」で繋がった、ロータリアンです。今回の席次は、当クラブの SAA が委員会を開き試行錯誤しながら、３クラブの会員同士が交流を深めるよう工夫しております。始めてお会いする方も、いつもの顔なじみの方も、最後まで交流を深めて頂き、楽しい時間をお過ごし下さい。最後に、来月１４日木曜日に佐世保クラブと共同で開催する IM には、たくさんの方にご参加頂きますようお願い申し上げます。以上、ホストクラブの、会長挨拶とさせて頂きます。本日は有難うございます。

〒857-0875 佐世保市下京町 10-6 太陽アネックスマンション 306 号室 TEL. 0956-25-5595 FAX. 0956-25-3445 Mail. chuo. rc@theia. ocn. ne. jp

ニコニコボックス

岡 光正会長･芥川 圭一郎副会長･馬渡 圭一幹事

本日は佐世保東ＲＣ、佐世保北ＲＣ、そして当クラブによる３クラブ合同例会がこのように開催されますことを大変嬉しく思っております。

さて、先日の３クラブゴルフコンペでは残念ながら当クラブが負けてしまいましたが、本日はそのリベンジというわけではなく、皆様との友情をさらに深める場として楽しい時間を過ごせればと思っております。次回こそは‼と密かに気合いは入っておりますよ（笑）また、本日の開催にあたりご尽力いただきましたメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。本日はよろしくお願い致します。

本日の卓話



国際ロータリー第 2740 地区
第６グループ
ガバナー補佐　前田 眞澄君

久しぶりの３ロータリークラブ合同例会ということで佐世保東 RC 様、佐世保北 RC 様には平素より大変お世話に成っております。また、私のホームクラブで有ります佐世保中央 RC の皆様にはガバナー補佐としての活動にご支援を頂いております事に大変感謝申し上げます。卓話の本題ですが、４月１１日（土）に開催されました第１８回全国 RYLA 研究会大分大会に行ってまいりました。会場の J：COM ホルトホール大分は大分駅前に有り、交通の便が良く会議室数等も多く図書館、スポーツジムもある複合施設に成っている大分市の拠点的な存在の施設でした。

今回の RYLA 研究会ですが全国２９地区からロータリアンが１９２名、アクトその他で２６名、計２１８名の参加者でした。第２７４０地区からは佐賀 RC の野口清 PG、神崎 RC の合瀬一男ガバナーノミニー、唐津 RC の徳川清隆ロータリーファミリー委員長、大村 RC の太田陽子 RYLA 委員長と私の５名の参加でした。

開会の挨拶は東京飛火野 RC 水野 RI 理事がされ、基調講演は姫路 RC の三木 元 RI 理事がされ、全国 RYLA 研究会大分会議実行委員長を大分キャピタル RC の前田パストガバナーが務めたりとキャスティングも正に全国レベルの地位のある方で構成されているなと思いました。

RYLA の起源ですが、1959 年オーストラリアのクイーンズランド州にて自治権獲得 100 周年を祝う事と成り、エリザベス女王がアレクサンドリア王女を名代として派遣されました。これを機会に王女と同世代の青年達を招いて 100 周年記念式典に参加させ、意見交換会をさせるという計画が持ち上がりました。そしてブリスベンロータリークラブが全豪から集まってきた青年リーダー達のホストを務め、この青年たちの資質の良さに感心したブリスベンロータリークラブは、この催しを毎年行うことを決め、地区の各クラブより２名ずつの青年をブリスベンに招待し、1 週間、文化、社会、教育のプログラムに参加させることにしました。これが RYLA の起源で、RYLA は第 260 地区で生まれたということです。

日本に於いては 1976 年第 366 地区（大阪・和歌山）現在の 2660 地区で初めて開催されました。第 2740 地区で申しますと、第 1 回 RYLA が開催されたのは国際ロータリー創立 75 周年の地区記念事業として、当時の新家忠男パストガバナーが実行委員長と成り、1980 年 5 月、長崎県西彼郡大瀬戸町の「しんわ森の家」で開催されました。この時は 2 泊 3 日で行われ、1 日目と 2 日目は青雲学園理事長 速水雄吉氏、長崎県総務課長　柴田常雄氏、他数名の方々の講話が行われ、最終日の 3 日目は海上自衛隊護衛隊の体験航海、海上自衛隊佐世保地方総監部　杉浦章義氏の講話が行われました。

現在、２７４０地区の RYLA は 14 歳～30 歳の男女で持ち回り方式の単年度で５４クラブでの持ち回りでホストを務め、1 泊 2 日を基本に行われており、近年佐世保市内のロータリーでは 2022-20224 年度佐世保西ロータリークラブさんがホストとしてされていますが、太田 RYLA 委員長の資料にも記載されていますが、受講者集めに大変苦労されたみたいです。緒方信幸ガバナー年度に RYLA 改革会議を行われ単独のクラブに責任を持たせるのでなく、RYLA セミナー運営を地区の RYLA 委員会が行い、第 2740 地区の各グループ若しくはクラブで開催地を持ちまわるという方向性で行っています。

話は、また全国 RYLA 研究会に戻りますが、他にプログラムとして全国で行われている RYLA の事例発表が４クラブ有り、夫々の地区での独創性と創意工夫がなされていました。参考に成りました。プログラム最後に「危機管理について」の講話が第 2680 地区三田 RC のパストガバナーの安行英文氏からあったのですが、世界の現状として性的マイノリティ（性的少数者）のお話が有りました。そういった方を LGBTQ＋という５つの頭文字を取って表現されているのですが、L はレズビアン、G はゲイ、B はバイセクュアル（性同一障碍者）T はトランスジェンダー（性別越境者）Q はクエスチョン（男女どちらか自己判断が出来ない）の方達を表しています。現在の世界の方向性として、その様な方々も人権や性的指向の多様性の観点から認めて行っています。その様な方々もロータリーの青少年事業に於いて日本にも来られる可能性が有るということです。その時どの程度まで性的マイノリティの方を認め、対応して行けばよいのかということが重要に成ってきます。①事前の対応として男女別のスペースを原則維持する。※未手術者のトランス女性スペースはトラブルの主要因に成ります。②個別対応の仕組みを整える。※性自認の相談が有った場合は保護者、専門家、プログラム責任者で協議する仕組みを作くっておく。③参加者全体の安全を最優先する。※青少年プログラムでは特定の思想よりも安全確保を優先する姿勢が必要であると締めくくられました。
















〒857-0875 佐世保市下京町10-6 太陽アネックスマンション306 号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo.rc@theia.ocn.ne.jp